乙川小学校
校長通信
No. 3

おっかわ ぜっこうちょうだより

令和３年５月 10 日発行
半田市立乙川小学校
発行責任者：森下正康

あれから1年 校外学習に出かけました

思い返せば、ちょうど１年前ゴールデンウィーク開けから学校は再開しました。昨年度当初は、１か月の休校での学習の遅れを取り戻すのに精一杯でした。１学期は、行事らしい行事はなく、毎日授業に追われていた気がします。

でも、今年は違います。コロナ禍でも感染予防をしながら学校行事にも挑戦しています。先日、１年生は乙川公園へ2年生は七本木公園に校外学習に出かけました。令和3年度が始まって約１か月。新しい友だちもできました。友だちと関わりながら遊ぶ場面では、自分の思い通りにならないこともあります。そんな時は自分の気持ちに折り合いをつけることや、友だちと思いや考えを出し合って遊ぶ楽しさを学んでいきます。けんかすることだって、学校での大切な学びだと思います。

学校から外に出かけることで学ぶこともあります。公園までの行き帰りは交通安全を実体験できる場です。安全な歩行や道路の横断など、みんなで学習しました。

子どもたちが安全に遊べるように、支援員さんが担任のサポートしてくれます。PTA 広報部のお母さんもカメラ片手に見守ってくださりました。公園には、就学以前のちびっ子も遊んでいて、そのお母さんから、小学生の遊び方で危ないと感じていることを教えていただきました。その場で注意できることほど、効果的な指導はありません。本当に感謝です。

コロナ禍での校外学習だから…

2年生は弁当持ちで出かけました。食事の前には、担任の先生から手指にアルコール消毒をかけてもらい除菌しました。食べるときには、できるだけ向かい合わせにならずに食べていました。下の写真のように、１列に並んで座って食べている班もありました。みんなで丸くなっておしゃべりしながら弁当を食べることができれば、もっと楽しいのに…と思ってしまいました。でも、子どもたちは「先生、見て～」って私にうれしそうに弁当を見せてくれるんです。どんな状況でも、外で食べる弁当って特別な時間ですよね。

こいのぼり集会(1年生)

　1年生が「こいのぼり集会」をしました。誕生日のお祝いやゲームをして楽しく過ごしました。

　もともと5月5日は「端午の節句(たんごのせっく)」と言って、男の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをする日でした。1948年に「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」お休みの日と決められてから、端午の節句の日が、こどもの日になったそうです。男の子も女の子も関係なく、子どもたちみんなをお祝いするようになりました。

　でも子どものお祝いだけじゃなくて「お母さんに感謝する」という意味もあったのですね。今年のこどもの日は終わっちゃったけど、今からでもお母さんに「ありがとう」の気持ちを伝えよう。

保護者の皆様へ

　これから暑くなります。子どもたちは学校でマスクを濡らしたり汚したりします。予備のマスクをカバンに入れて置いてください。また、熱中症の心配もありますので、汗ふきタオルやお茶を持たせてください。よろしくお願いします。

おっかわいいね

先生がいっしょに遊んでくれた の巻